

小松市地域公共交通活性化協議会

平成21年2月16日設置
平成22年3月23日連携計画策定



概要

小松市では、公共交通の活性化・再生は「安心・安全なまちづくり」の実現へ向けた重要施策であるため、利用者や住民ニーズの把握を徹底的に実施し、らく賃パスポートをはじめとする公共交通利用促進策の検討と分析、コミュニティバス運行の検証や代替交通の導入など、本市における総合的な交通体系の検討と新たな指針づくりを行うもの。

○市内循環コミュニティバスの運行

市内循環線と市内循環B線を統合し、小松駅を中心として南北に8の字を描くような新路線へと改編するとともに、オリジナルデザインを配したバス車両を購入する。運行便数を増やして市内を双方向で循環すること、魅力的なバス車両による運行を行うことで、バスの利便性の向上と利用者の増加を図る。

○多様な運行形態の導入・検討

従来の木場線を東西線・木場線に分割し、利用者数の少ない路線について乗合タクシーでの運行を試験的に導入。

また、他路線についても利用者数や地域特性に応じた運行形態を検討。

さらに、路線の改編、結節点やバス待ち環境の整備についての検討を進める。

○公共交通の利用促進策の実施・検討

65歳以上の方を対象としていた「シルバーパスポート」を高校生も対象とし、市内路線バス(一部市外含む)が乗り放題となる有料パスポート『らく賃パスポート』として販売し、バス利用者の増加を図る。

その他、バス愛称募集の実施や利用促進策の検討を行う。

